

事務事業名	固定資産税賦課事務		所属部局	総務部	単位番号	3100																													
			所属課室	税務課	課長名	大森修																													
			所属担当	資産税	担当者名	小林徳男																													
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																								
		01	行財政改革の推進	01	一般	0	2	0	2	0	2	0	4																						
政策	01	財政の健全化の推進	事業区分	☒ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☒ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金																															
施策																																			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)		法令根拠	地方税法、市税条例																															
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・固定資産税は、1月1日現在で固定資産を有している人に、その固定資産評価額をもとに行っている。土地については、下落が著しいため毎年7月1日時点における下落修正のための価格設定を行っている。 ・課税客体を正確に把握し、公正な課税を行うために地番図、家屋図の修正を行う。 ・画地データの入っていない土地の調査を行う。(H24)			事業費の主な内訳 (22年度) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品</td> <td>566</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本</td> <td>1,243</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>86</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の委託料</td> <td>61,076</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>62,971</td> </tr> </tbody> </table>								項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	消耗品	566			印刷製本	1,243			手数料	86			その他の委託料	61,076					計	62,971
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																																
消耗品	566																																		
印刷製本	1,243																																		
手数料	86																																		
その他の委託料	61,076																																		
		計	62,971																																

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績 平成24年度評価替えに伴う標準地、路線価の価格設定、航空写真撮影。 23年度活動予定 評価替え準備、新年度課税。
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	固定資産所有の納税義務者
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	適正な課税賦課
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	自主財源の確保

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 標準宅地数 地点 イ 路線価付設本数 本
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 納税者数 人
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 固定資産税調定額 千円
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 固定資産税収能率 %

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	17,640	62,971	18,305	21,921	63,000	18,000	
	事業費計 (A)		千円	17,640	62,971	18,305	21,921	63,000	18,000	0
	人件費	正規職員従事人数	人	11	11	10	10	10	10	
		延べ業務時間	時間	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
		人件費計 (B)	千円	44,610	44,610	39,620	39,620	39,620	39,620	0
		(A)+(B)	千円	62,250	107,581	57,925	61,541	102,620	57,620	0
活動指標	ア イ ウ	地点		292.0	292.0	292.0	292.0	292.0	292.0	
		本		888.0	905.0	905.0	905.0	910.0	910.0	
対象指標	ア イ ウ	人		24,996.0	25,396.0	25,672.0	26,000.0	26,000.0	26,000.0	
成果指標	ア イ ウ	千円		4,272,848.0	4,229,837.0	4,187,041.0	3,900,000.0	3,900,000.0	3,950,000.0	
上位成果指標	ア イ	%		96.9	97.1	97.2	97.2	97.3	97.3	

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和25年
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	不景気が長期化しているせいか、固定資産税に重税感を感じている住民が増えている。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	評価額、課税額、現況地目などの問合せは多い。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	介在農地の調査、課税
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	死亡者課税の調査、収納率向上、評価替え基礎データの取り込み

事務事業名	固定資産税賦課事務	所属部	総務部	所属課	税務課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由 ↓] 固定資産税は基幹財源である。	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 市で行うべきもの。	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由 ↓] 固定資産税は基幹財源である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 課税自体にはないが、課税データの収集など有効な方法を模索している。	
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] ☒ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] 自主財源の確保	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 地番図、家屋図の修正などの委託費を削減できるよう努めている。	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 余地がないのに減員となっている。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] 公正公平な課税を行っている。	

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める) … 複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☒</td> <td>☐</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☒	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について ①委託業務の内容検討 ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① ② ③	(5) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	②	コスト削減優先度評価結果	⑧																	
成果優先度評価結果	②																					
コスト削減優先度評価結果	⑧																					